

平成30年12月議会

Q 地域子育て支援事業の充実をもとめる

A ニーズ把握、持続可能性を考慮し検討を続ける

問

厚生労働省では地域子ども子育て支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）に予算を付けているが、飛島村ではこの事業実施に、どのような対応しているか。

○村長

この事業は、子育て中の保護者や地域住民が、子育てに関する日常的なサポートに対し、双方の会員を募り、お互い助け合う「相互援助事業」です。本村においても実施の可能性について検討している。

問

具体的にどのように検討しているのか。

○村長

次年度に必要なニーズを調査し、持続可能性を含め、子育て世代の住民のよりよい環境整備に努力する。

要望

ファミリーサポートセンター事業は難しい課題だと思うが、実現に向け、人材や必要な予算など、可能な限りの支援を要望する。

Q 青少年のスポーツ環境を整えよ

A 現状を把握し検討する

問

飛島学園では11月より平日の部活動が出来なくなると聞く。
スポーツをしたい青少年のために、飛島学園の体育施設を開放できないか。
出来なければ、公園のように自由に使える体育施設が必要ではないか。

○村長

海部地区において11月から4月まで、平日は早朝か午後のどちらかの活動となっています。
飛島学園の体育施設の開放はセキュリティーを考えると困難。
村内には他にも体育施設があり他町村に比べ充実している。

問

冬の時期、早朝は暗く寒くて練習には適さない。
他の施設は有料で自由に使えない。

○教育部長

部活の練習時間は文科省のガイドラインに基づいて決められている。

○生涯教育課長

スポーツ少年団として体育団体の枠の中で利用して戴ければ無料で利用できます。

問

無料と言っても週2回までで自由に使うとは言えない。

○生涯教育課長

現状の利用状況としては、一定のルールに基づき利用していただいています。

問

村長のお考えは。

○村長

現状を把握できていないので検討したい。

要望

施設の拡充を含め検討御願ひします。

「補足説明」

文科省のスポーツ庁では。生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境の整備として。都道府県、学校の設置者及び校長は、生徒のスポーツ環境の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、地域のスポーツ団体との連携、保護者の理解と協力、民間事業者の活用等による、学校と地域が共に子供を育てるという視点に立った、学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める。

(原文) としている。